

第22回文化財の保存及び修復に関する国際研究集会「近代の文化遺産の保存と活用」
 (The 22th International Symposium on the Conservation and Restoration of Cultural Property—Conservation of Industrial Collections—)

近代の文化遺産は日本の近代化を証言する貴重な資産として未来に継承すべきものである。しかし、形態や使用されている材料の多様性から従来の保存修復材料や技法だけでは対応し得ず、新たな材料、方法の開発が求められる。近代の文化遺産の保存・活用にかかわる状況を浮き彫りにし、今後の課題を提示した。

日程：1998（平成10）年11月4～6日

会場：東京国立博物館

11月4日

	発表者	演題
1	大塚英明（文化庁）	近代の科学・産業技術遺産の保存・活用の現状と課題（Conservation of Modern Scientific and Industrial Heritage and their Issues）
2	磯村幸男（文化庁）	近代遺跡の保存について—現状と課題（On the Conservation of Modern Sites—Present Condition and Issues）
3	亀井伸雄（文化庁）	近代化遺産（建造物等）の保護の現状と課題（Present Condition and Issues of the Protection of Industrial Constructions）
4	清水真一（文化庁）	産業建造物保護の取組み（Protection of Industrial Constructions）
5	Martin Kaufmann（ドイツ・保存コンサルタント）	スクラップ置場から陳列棚へ（From the Scrapyard to the Show-case）
6	Hazel Newey（ロンドン科学博物館）	科学・産業関連収蔵品の保存と維持管理（The Conservation and Care of Scientific and Industrial Collections）

11月5日

	発表者	演題
1	Kornelius Götz（ドイツ・保存コンサルタント）	工場の保存技法について（On the Art of Conserving a Factory）
2	川野邊渉（東京国立文化財研究所）、 朽津信明（東京国立文化財研究所）	煉瓦建造物の劣化状況調査（Survey of the Condition of Deterioration of Brick Constructions）

3	鈴木昭（日本工業大学）	日本工業大学工業技術博物館について—その歴史と現状（On the Museum of Industrial Technology at Nippon Institute of Technology）
4	横山晋太郎（かかみがはら航空宇宙博物館）	航空機の保存・修復の現状について（Present State of the Conservation and Restoration of Aeroplanes）
5	John Kearon（イギリス国立マージサイド博物館）	海事遺産の保存—その歴史と現状—（Preserving the Maritime Heritage）

11月6日

	発表者	演題
1	Alfred Gottwaldt（ドイツ技術博物館）	鉄道遺産と博物館：修復と展示の思想—ベルリン交通・技術博物館の経験—（Old Railway Objects and Museums: A Philosophy of Restoration and Display—Experiences from the Berlin Museum of Transportation and Technology）
2	佐藤美知男（交通博物館）	交通博物館と鉄道文化財の保存（Transportation Museum and Conservation of Railway Heritage）
3	内田星美（産業考古学会）	日本の産業遺産の現状と保存修復の問題（Industrial Heritage in Japan and Current Problems in its Conservation）